

本年度の結果

	理科
阿蘇市	56
全国	57.1

領域別	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
阿蘇市	46.7	47.8	55.9	67.1
全国	46.7	51.4	52.0	66.7
観点別	知識・技能	思考・判断・表現		
阿蘇市	58.1	54.9		
全国	55.3	58.7		

本年度の主な結果について

○領域別では、「生命を柱とする領域」「地球」を柱とする領域、観点別では「知識・技能」が全国を上回っている。
 ●電気を通す物、磁石に引き付けられる物に関する知識や植物の発芽、成長及び結実とそれに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決方法を発想し、表現することに課題がある。
 ●観察や実験などで得た結果からどのように変わったかについて分析して解釈したり、問題に対するまとめを導き出したりすることに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

○ヘチマの花のつくりや受粉について知識が身に付いている。(3(1))
 ○電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いている。(2(3))
 ○水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。(4(2)イウ)

【課題】

物質

●問題を解決するための観察・実験の方法を適切であったか検討し表現する。(4(1))

エネルギー

●電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けている。(2(1))
 ●電気を通る回路のつくり方に関して理解し、表現する。(2(2))

生命

●顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。(3(2))
 ●レタスの種子の発芽の条件について、既習の植物の発芽の条件との差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する。(3(4))

地球

●氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解している。(4(3)キ)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

○「理科の授業では、観察や実験をよく行っているか」は、全国を上回っている。

【課題】

●「理科の勉強は好き」「理科の授業の内容はよく分かる」とも、前回調査よりも低く全国を下回っている。
 ●「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えている」は、前回調査よりも低い。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

○阿蘇市「探究的な学びの郷づくり」構想に基づく授業を構築し、単元デザインや授業デザインを基に、育成を目指す資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明確にして授業を行い、振り返るとともに、指導と評価の一体を図る。
 ○「比較」「関係付け」「条件制御」「多面的に考える」など理科の見方・考え方を働かせながら問題解決の過程を通して学ぶことにより、理科で育成を目指す資質・能力を獲得する授業改善を目指す。
 ○観察・実験などで得られた結果を基に分析して考察し、結果を基に考察する際には、表やグラフなどに整理するなど、結果を比較したり多面的に考えさせたりする。

【日常的な取組】

○学習課題とまとめの板書、予想、観察・実験、結果、考察などの表現する活動を行う。その際、電子黒板、タブレット端末等のICTの活用を通して動画や写真などを有効に活用する。

【家庭学習等】

○日常生活でも自然の事物や現象に関わらせるなど理科に関する興味関心を持たせる。